

と き 2020. 06. 10 (水) 朝小雨・晴

ところ 波勝崎入口～石部 (いしぶ) ～七十二番・禅宗院 (石部) ～七十三番・常在寺 (松崎・岩科南側、昼食) ～七十四番・永禅寺 (岩科北側) ～七十五番・天然寺 (岩科北側) ～松崎・岩科学校

参加 = 18名、歩数 = 25000歩、距離 = 15km

## コロナ禍で三か月ぶりの巡礼だった

4・5月、コロナで休講。やっと再開。しかし、まだ参加できない会員もいた。ただ今回、4月募集した新しい仲間が6名参加した。嬉しいことだ。



ビワ狩り

ブーゲンビリア

3月最終の波勝崎入口から出発。天気は、マママの感じだったが、高通山入口下で俄かに小雨が降ってきた。だが、ほどなく止んだ。旧道を歩き石部集落着。石部は「棚田」で有名だが、下部は、ほとんど草ボウボウで見る陰はない。

途中、ビワがたわわに実っていた。枝が通路に伸びているので、容易に取れる。実もほどほど大



きい。特に持ち主も分からないので、皆さんいただいた。甘酸っぱくて美味しかった。皆は勝手に「お接待・お接待」といっていた。例によってK嬢は、傘の柄で枝を引き寄せ、どん欲に取っていた。

グングン下り禅宗院着。途中、ブーゲンビリアの大木が見事だった。赤色が半端でなかった。お勤め後、岩科への旧道を上り返す。ほぼ海拔0mから峠まで標高差約185mの上り。思ったほど苦しい上りではない。ただ、暑い。途中、地元のオジサンが「桜葉」を手摘で収穫していた。



桜葉収穫



石部～岩科間の峠



アジサイ

峠から岩科を俯瞰。一体のお地蔵さまが、微笑んでいる。昔は、多くの方がこの峠を越えたであろう。巡礼道としては、味がある峠。一気に下り、七十三番・常在寺着。以前は若い寺番夫婦がいたが、現在は無住職。でも、中は掃除がいきとどいている。トイレもリフォームしキレイ。檀家の方が、踏ん張っているのだろう。

昼になり本堂で昼食。窓を全て開け放って気持ちよい風が渡る。昼食後は、30分昼寝。皆さん、ゴロゴロ横たわった。ただ、この場合、「仏様に足を向ける」のは、ご法度。

昼寝は約30分。終了後は、スッキリし気持ちよかった。本堂の戸締りをして、午後の巡礼。寺入り口の階段の脇に見事な赤い花が咲く木があった。



最初、ブーゲンビリアと思ったが、「ザクロ」という。ただ、実がなく、未熟な実みたいなのが、たくさん落ちていた。植物の探索に興味深い、Tさんが実を拾って観察していた時、丁度、地元の方の軽トラックが来た。



常在寺



ザクロの木



若い田んぼ作業人



ナマコ蔵

Tさん、すかさず軽を止め、運転手のオジサンに実を見せていろいろ質問。オジサン曰く「そのザクロは実がならないものだよ」と答え「俺が植えた」といった。・・・??!!偶然にしてはビンゴ。何とオジサンは寺横に住む方だった。翌日、ネットでザクロの結実を調べた。結果、ザクロはもともと、結実が難しい植物らしい。

・・・ザクロは中々に実が付きません。かなりの年数を要します。販売店で実付きを販売していますのは、水切りや薬剤による抑制栽培によるものです。ザクロには雄花と雌花が有ります。雄花が咲いても雌花が咲くのが遅れることも有ります。剪定を致しますと徒長枝ばかりが伸びまして、結果が益々に遅れますので、有る程度は放任に大きく育ててください・・・ネット

岩科の田園地帯を進む。田んぼは、早苗が風に揺れ、オタマジャクシが多い。25年前は下土狩でも見られた風景だが、今は見られなくなった。岩科川の流れが、よどんでした。田んぼに引水す

るので、本流が「水不足」だった。田んぼに、比較的若い男女が二人作業をしていた。田んぼに若い方は最近珍しい。岩科は、「ナマコ壁の蔵」が多かった。故郷が松崎の「入江長八」の影響だろう。では、なぜ「ナマコ蔵」なのか。

・・・なまこ壁は見た目ではなく、昔の最高級の金庫と思って見てみよう。防火性、保温性、保湿性に優れ、明治時代から昭和初期まで各地で見られた外壁の工法。守備力MAXの倉庫です。その外壁がなまこ壁だった・・・ネット

峰集落にさしかかった。マスクをしたオバさまが、「どこに行く、永禅寺??」と聞いてきた。「そうです」と答えると、「本堂が開いていないから、私が開けます」といって、ご主人と車で寺に向かってくれた。



岩科地先



永禅寺

後でよく考えると、確か2年前（伊豆は一周2年かかる）も、お世話になったような・・・。有難い、檀家の方でした。永禅寺まで、ダラダラと上っていく。集落を外れると寺が見えた。この辺りは、静かな山間。

寺は大きく立派。以前は、前住職の奥様がいたが、現在は高齢（92歳）で施設に入居している。山門は扉があった。以前はなかったが、無住になって取り付けたようだ。本堂でお勤め。広く明るい本堂で気持ち良い。ちょっと高台なので風通しは抜群。

本堂を開けてくれた檀家の方は、「ヤマモトさん」だった。「以前、見たことがありますね」といった。2年前も確か開けてくれた記憶がある。覚えてくれたようだ。境内で記念撮影。

寺を辞し、「ヤマモトさん」と一緒に家の前まで歩いた。お礼をいって七十五番・天然寺に向かった。天然寺は、国指定重要文化財・岩科学校の横にある。岩科学校が立派すぎて霞んでしまう。

ちょっと暗い感じの本堂で、本日最後のお勤め。朝皆は、久しぶりのお経でぎこちなかったが、最後は、まあまあ良かった。帰りは、「梅月園」に寄って、「さくら葉餅」を購入し帰った。

3ヶ月ぶりの巡礼でしたが、新しい方も元気に歩いて良かった。バス移動も今日現在、コロナ発症はなく、特に問題はなかったです。こちらも良かったです。

<http://nagazumi88jyunrei.web.fc2.com/jyunrei/96.pdf>・・・かつての永禅寺のお母さん写真





七十四番札所 永禅寺



ザクロの木